

# 藤岡商工会

## 豊田市藤岡地区商業活性化計画



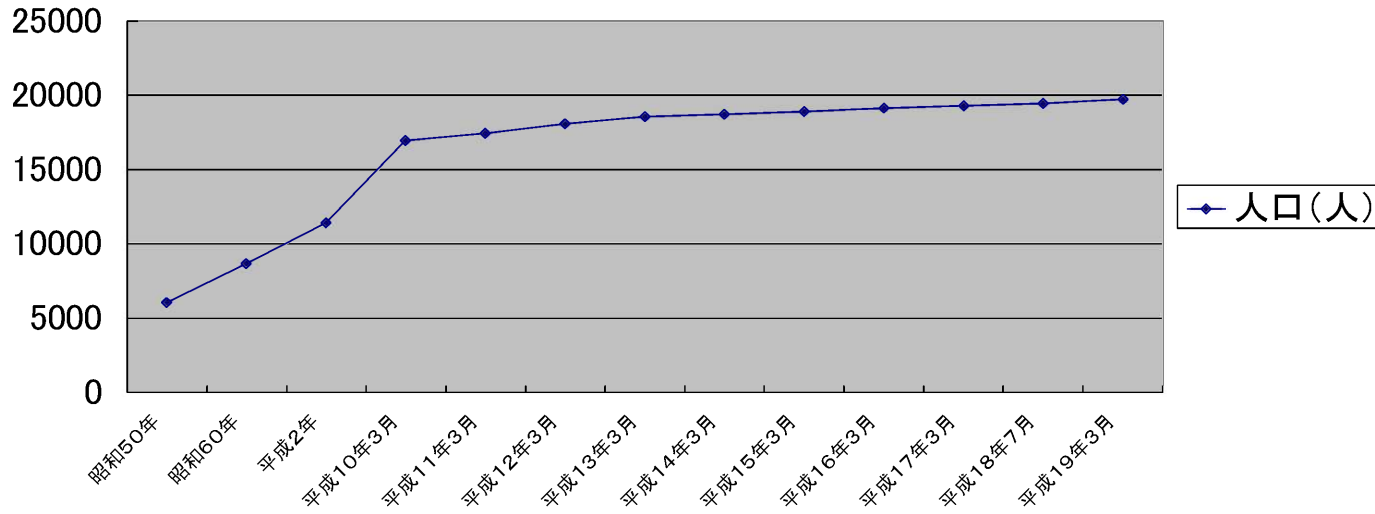
- I. 藤岡地区商業の現状と課題分析
- II. 藤岡地区商業活性化の基本方針および目標
- III. 平成20年度、21年度、22年度の事業計画
- IV. 評価指標および評価の手法
- V. 推進体制

# I. 藤岡地区商業の現状と課題分析

## 1. 昭和53年4月の町制施行以来、急激な人口増加。

(1) 藤岡地区人口の変遷

年月日現在	昭和50年	昭和60年	平成2年	平成10年 3.31	平成11年 3.31	平成12年 3.31	平成13年 3.31	平成14年 3.31	平成15年 3.31	平成16年 3.31	平成17年 1.31	平成18年 7.1	平成19年 7.31
人口(人)	6,042	8,637	11,380	16,921	17,408	18,029	18,524	18,675	18,879	19,081	19,246	19,426	19,687



### 藤岡地区の特徴

豊田市藤岡地区は、昭和53年4月の町制施行以来、豊田市や名古屋市のベッドタウンとして急激な人口の増加をみてきた。また、住民の平均年齢も34才と日本一若いまち（平成7年第16回国勢調査）として、10年以上にわたってその地位にあった。

地理的には、東西交通の要衝となっており、瀬戸市、豊田市街地、岐阜方面からのアクセスもよい。また、2005年の「愛知万博」を期に、東海環状自動車道が整備され、豊田藤岡インターチェンジも整備された。

南部地区を中心に交流施設の集積がなされているが、北部地区、東部地区などではいまだに昔ながらの様相を呈している場所もある。

また、地区の中央部を国道419号が縦貫しているものの、安全性、快適性がきわめて低く、主要道路がこの一本に限られているため慢性的な渋滞も引き起こしている。



藤岡飯野町 藤岡支所付近  
古くから藤岡地区の中心地であった。



下川口町  
東部、北部はいまだに昔ながらの様相である。



西中山町の住宅団地  
旧豊田市のベッドタウンとして南部地区を中心に急激に人口が増加してきた。



## (2) 商業者数と売上高の増減

業種		年別	
		2000 (平成12年)	2006 (平成18年)
1	小売業	66	54
2	サービス業(自動車修理含む)	35	34
3	飲食業	67	55
4	その他商業	15	10
合 計		183	153

(商工会員数より)

(売上高単位：千円)

業種		2002. 3. 31		2007. 3. 31	
		件数	売上高	件数	売上高
1	小売業	15	381,493	15	327,701
2	サービス業(自動車修理含む)	11	184,534	12	138,917
3	飲食業	24	246,251	24	224,672
4	その他商業	2	15,192	2	14,667
合 計		52	827,470	53	705,957

(商工会員よりデータ提供)

※参考資料 愛知県商業統計調査・消費販売額調査より(小売業)

事業所数(件)			従業者数(人)			年間商品販売額(万円)		
平成11年	平成14年	平成16年	平成11年	平成14年	平成16年	平成11年	平成14年	平成16年
90	99	79	970	897	786	3,935,224	2,020,160	-

2. 藤岡地区事業者の課題。

1. 地区内に散在する商店。

(1) 飯野地区 飯野銀座と呼ばれた昭和30年代から40年代をピークに下降線をたどっており、近年になって急激に廃業が相次いだ地域である。

(2) 中山地域 発展が進んだのはこの30年ほどであり、もともと人口も少なく店舗はほとんど存在しなかった地域である。

昭和50年代以降になって人口増加が起こり、商業も発展してきた。したがって、比較的新しい店舗が多い。

(3) 深見地区 近年急激に店舗がつくられはじめた地域であり、特にコンビニエンスが開業して以来、消費者を集める地域となった。

(4) 北部、東部地域 店舗がそれぞれ孤立した形で存在しているが、廃業により店舗数も減少している。

藤岡地区全体では事業者が地域に孤立した形で散在しているため商店街としての形態を持たない。

また、一部を除いて商店同士の連携もなく、それぞれが個々に営業活動を行っており、集客のためのイベントも少ない。

しかしながら、従来からこうした店舗が地域住民の生活を支えるとともに、店舗も成長してきた。人口が急激に増加しはじめた昭和50年代以降、機を一にするように事業者の衰退がはじまった。



飯野交差点付近は慢性的に渋滞がある。小中学校の通学路にもなっており、買い物、通学、通勤とも危険が絶えずつきまとい、安心・安全なまちとは言い難い状況である。

2. 地区外への消費流出と相次ぐ大型商業施設出店に伴う地域間格差。

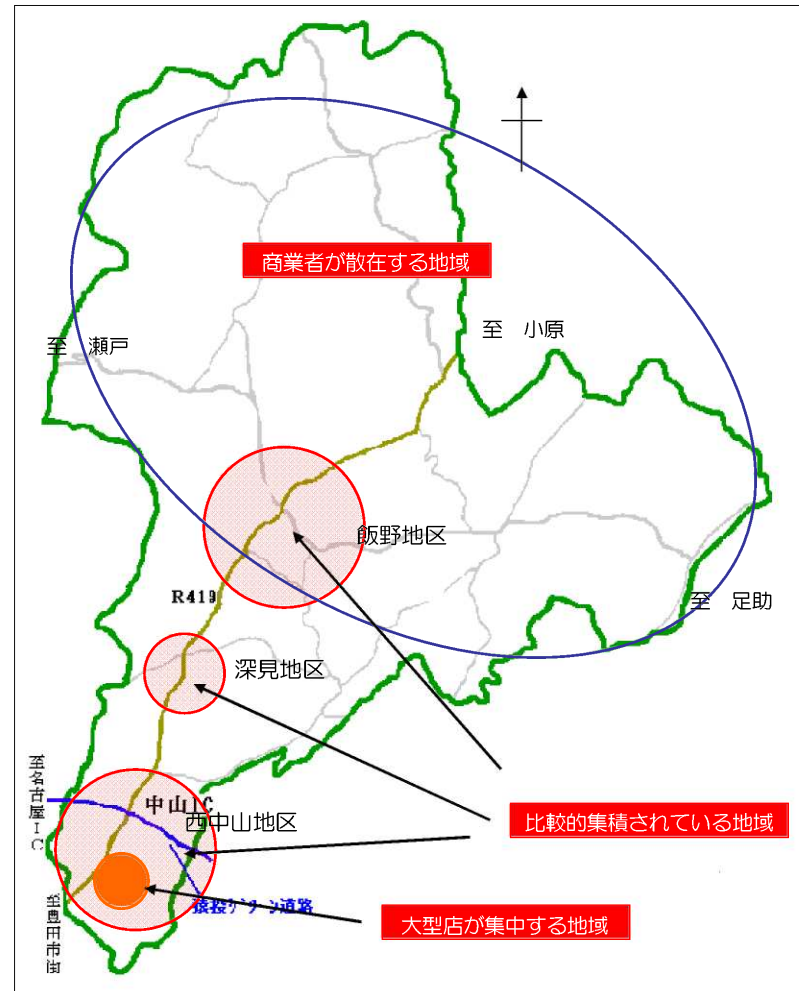
平成11年度愛知県消費者動向調査によると、買い回り品の旧豊田市での購買率は藤岡地区では89.1%である。

急激な人口増加で消費者は増え続けてきたが、従来からの店舗形態では若年層が中心の住民たちのニーズを十分に満足させることができなかった。

一部店舗では、改装等も行われてきた。しかしながら、新たな形態であるコンビニエンスの登場により顧客の多くが流れていった。

また、北部地域の住民は瀬戸、土岐、瑞浪市に近いこともあって、食料品などの最寄り品の多くは地区外に流出している。

これに加えて平成7年以降、南部地域への大型店（トヨタ生協藤岡店、アント藤岡店（ホームセンター）、市民市場（食料品）、スギ薬局（生活用品））の出店が相次ぎ、藤岡地域以外からも集客するほどの力を持ち、その結果一極集中が進み、飯野地域をはじめとして空洞化現象が起きてきた。これに伴い商店（街）の崩壊（廃業等）が進んでいる。



西中山付近は大型店の出店とともに急激に発展してきたが、交通量も多い。



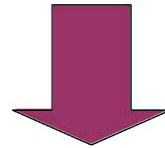
深見地区は近年特に発展してきた地域であり、新店舗もいくつかつくれた。

## II. 藤岡地区商業活性化の基本方針および目標

### 1. 基本方針

豊田市観光交流基本計画ならびに藤岡地域会議策定ビジョンに沿った基本方針。

豊田市観光交流基本計画 ～花回廊「ふじおか」～	藤岡地域会議策定ビジョン ～創造のまち「ふじおか」～
<p>1. 豊田市観光交流基本計画の3つのプロジェクト</p> <p>(1)花回廊・観光ルート整備プロジェクト ①各地区の花回廊の魅力づくり</p> <p>(2)オカリナと陶芸のふるさとづくりプロジェクト</p> <p>(3)緑化センター・昭和の森の活用プロジェクト</p> <div data-bbox="698 341 1068 549" style="border: 2px solid purple; padding: 5px; text-align: center;"> <p>土の音色が こだまする こもれびの里</p> </div>	<p>1. 地域活性化対策 つながりがあり、本物を生み出し、 文化・歴史・交流のあるまちづくり</p> <p>2. 環境対策 自然、地域、自らと遊ぶ</p> <p>3. 教育対策 自ら責任が持て、情熱を育み、可能性を信じるひとづくり</p> <div data-bbox="1787 341 2145 549" style="border: 2px solid purple; padding: 5px; text-align: center;"> <p>最 高 を 目 指 す 独 創 的 自 由 人</p> </div>
<p>「ふじ」を中心としたまちづくり</p>	
<p>人と場をつなぐ <span style="color: red; font-size: 1.2em;">まちづくりと一体化</span> した商業振興</p>	



### 2. 目標

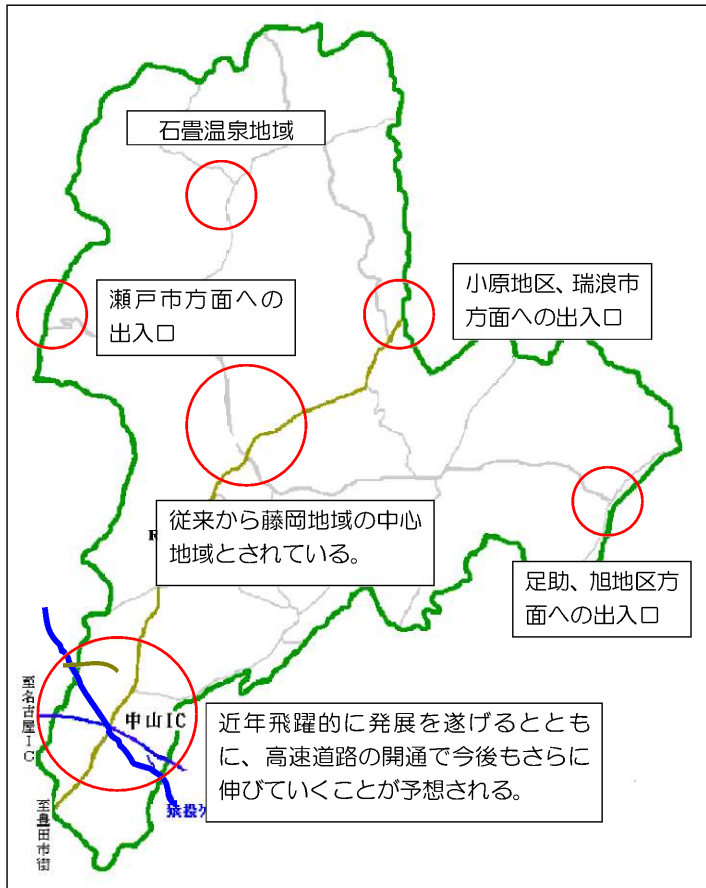
<p>I. <b>藤岡商店街</b>としての一体感の形成</p>	<p>1. 広範囲に点在する商業者を、地域全体を一つの商店街としてとらえるためのCIの導入。 ※CI コーポレート・アイデンティティ (Corporate Identity) の略 地域（企業）が持つ特徴や理念を体系的に整理し、簡潔に表したもの。住民（顧客）からみて地域（企業）を識別できるような、その地域（企業）に特有のもの。</p> <p>2. システム（仕組み）を共有する商店連合体の形成。</p>	<p>(1)藤岡地区全体が「ふじ」の町であるイメージの創造 (2)キャラクターグッズの製作と販売 (3)店舗入口へのふじモニュメントの設置</p>
<p>II. 地域住民・消費者・地区外来街者等とのコミュニケーションの形成</p>	<p>1. 消費者がお買物などをするのがまちづくりに参画することができるシステムづくり</p> <p>2. 地域内外の情報収集・提供</p>	<p>(1)現存のポイントカードシステムのリニューアル (2)空店舗活用・拠点整備事業</p>
<p>III. 地域の安全性の確保と安心安全なまちづくりの推進</p>	<p>1. 楽しく安全なまちであるイメージの創造。</p> <p>2. 地域住民が安心して暮らせるまちづくりに事業者が中心的役割を担う。</p>	<p>(1)マイロード・プロジェクト (2)街路灯設置事業</p>

I. 藤岡商店街としての一体感の形成

藤岡地区全体が「ふじ」の町であるイメージの創造

1. 広範囲に点在する商業者を、地域全体を一つの商店街としてとらえるためのC Iの導入

藤岡地区の概観



(1) 藤岡地区全体が「ふじ」の町であるイメージの創造

① 商店街の連続性を創る

A. 藤つるを加工して、商店の入口にオブジェとして使うなど、連続性のない商店の、イメージ上のアイデンティティ（連続性・一体性）を創る。

② ふじにちなんだ新商品の開発促進

A. 弁当の中にふじの花を入れた九尺弁当、黒竜弁当、九尺ロール、ふじの根入り五平もち、ふじの花寿司など、ふじの名前をつけた商品の販売  
I. シソ入りご飯で藤色を出し、ふじをイメージする。

③ ふじ（色）を基調とした具体的な商品展開、商業振興方策例

A. ふじ（色）を基調にした商品展開、商業振興

- ・紫のイメージの食材、ブルーベリー、シホンケーキ等、藤染め、紫染め、藤色統一フラッグ、紫色Tシャツ、紫色コースター、エプロン等
- ・イメージマーク入りエコバッグの製作

I. 特産品認定事業

- ・特産品認定マーク、ロゴ、シール等の作成



「ふじの回廊」

毎年5月のシーズンには「ふじまつり」が開催される。



ふじのシーズンには、5万人の方が地区内外から訪れる。



平成4年に住民公募で制定されたキャラクターマークの「藤っ子ふうちゃん」

(2) キャラクターグッズの製作と販売

A. 従来からある「藤っ子ふうちゃん」のイメージキャラクターのグッズを製作し販売する。

I. ぬいぐるみ、ピンバッジ、着ぐるみ等の製作

II. 藤っ子ふうちゃんの商標登録

## Ⅱ. 地域住民・消費者・地区外来街者等とのコミュニケーション

### 1. 消費者がお買物することがまちづくりに参画することができるシステムづくり



現在地域住民に利用されている「ふじおかオカリナカード」

#### (1) 現存のポイントカードシステムのリニューアル

平成7年より、藤岡地区では一部事業者により「ふじおかオカリナカード」が運用されている。このシステムは、消費者の固定化など一定の成果を挙げてきた。この制度を全面的にリニューアルし、さらに地域消費者等に活用されるシステムとする。

#### (2) まちづくり型ポイントカード創造

ア. 満点になったら「ふじ」をプレゼントするなど、ふじのまちづくりに参加するシステムを入れ込み、まちづくり型ポイントカードとする。  
(カードを持つことがステータスになる。まちづくりに貢献していることの意識を持たせる)

イ. 買物をしたらその代金の一部がまちづくりに還元したり、住民生活の利便性の向上など社会に貢献するシステムの構築  
リ. 還元したものが目に見える(まちづくりに貢献する)ものにする。

Ⅰ. マイバッグ運動との連動    Ⅱ. 生活交通バスとの連動    Ⅲ. 地域ボランティア活動での活用

## ポイントカードシステムのイメージ図

### 消費者・地域住民

生活交通バス利用

買い物・サービス・マイバッグ活動等

地域ボランティア

商工会

加盟店によるポイントの発行

買い物・サービス  
マイバッグ活動等  
(既存事業)

- ① 満点カードによる買い物等
- ② 加盟店売り出し、イベント時での利用  
(3年以内に実施予定)
- ③ 地域イベントでの利用

生活交通バス  
タクシー利用  
(3~5年以内に実施予定)

- ① 満点カードによる生活交通バス乗車料金の支払い
- ② バス回数券のポイントカード発行店での発売
- ③ タクシー利用料金の支払い

公共料金等の支払

(3~5年以内に実施予定)

- ① 市民税、固定資産税等税金の支払い
- ② 水道料金、介護保険、国民年金等の支払
- ③ 交流館等施設借用料支払
- ④ その他公共料金の支払

指定金融機関への  
預貯金  
(既存事業)

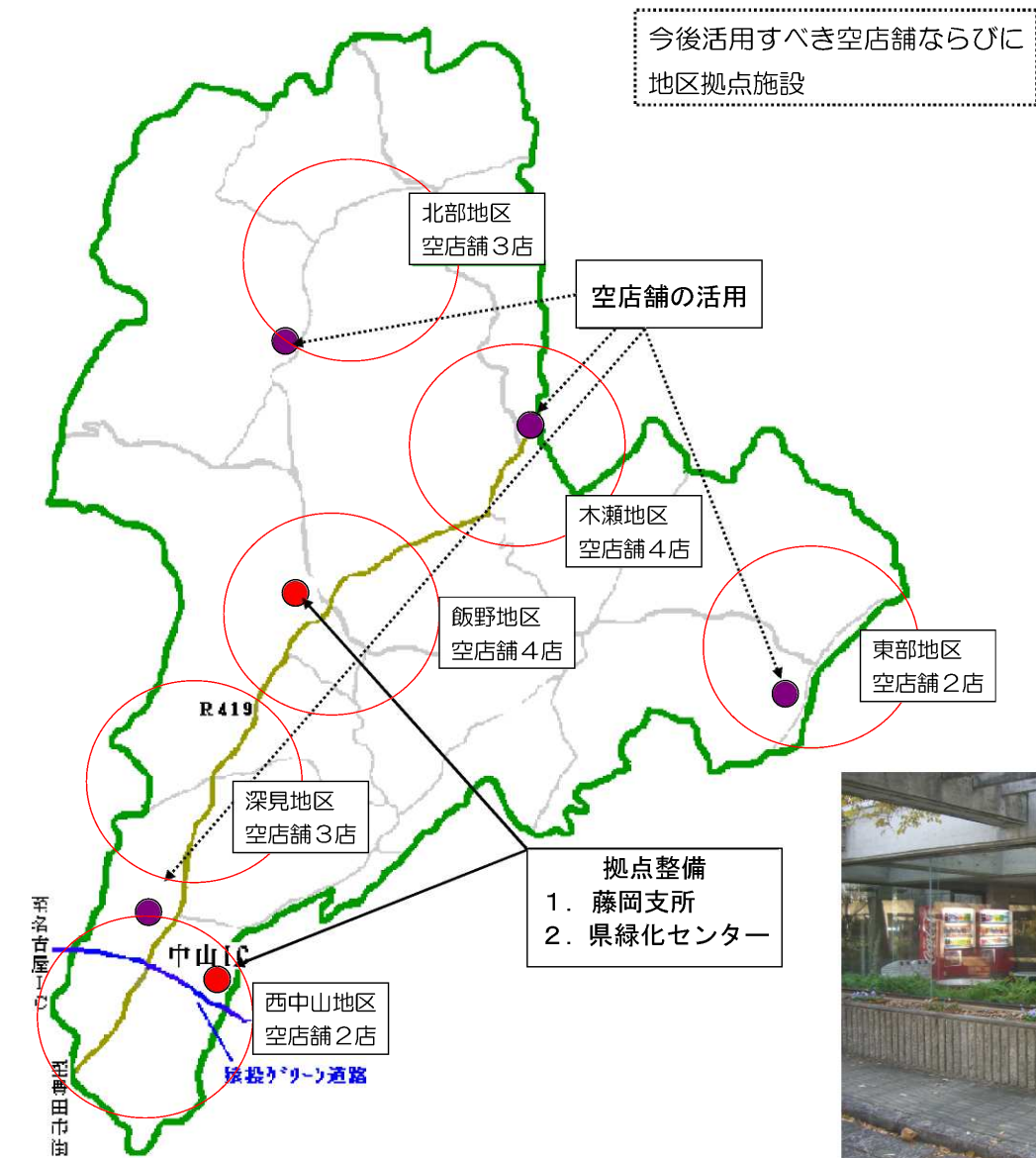
- ① 豊田、瀬戸両信金での預貯金
- ② JAあいちでの預貯金
- ③ 藤岡郵便局での預貯金

まちづくりへの参画

(3年以内に実施予定)

- ① ふじの木との交換
- ② まちづくり基金(仮称)へ一定割合を拠出することで、まちづくりへ貢献する  
※まちづくり基金  
まちづくりのための費用を積み立てる

## 2. 地域内外の情報収集・提供



## (2) 空店舗活用・拠点整備事業

## ① 空店舗活用事業（まちの駅事業）

現在の空き店舗状況は、飯野地域で4店、木瀬地域で4店、北部地域で3店、東部地域で2店、深見地域で3店、西中山地域で2店ある。

これらの空き店舗の中から、好立地と思われる店舗を抽出し下記事業を行う。

- ① 地域核、地域拠点として機能強化をおこなう。  
地域消費者のみならず、商業者、来街者が気軽に立ち寄り地域コミュニティの一つとして活用する。
- ② 地域情報の収集ならびに発信  
地域住民等からの情報収集、地域来街者等への情報提供。
- ③ 特産品等の販売  
新たに開発された商品、地域特有の商品等を持ち寄り共同して販売する。

## ② 拠点整備事業

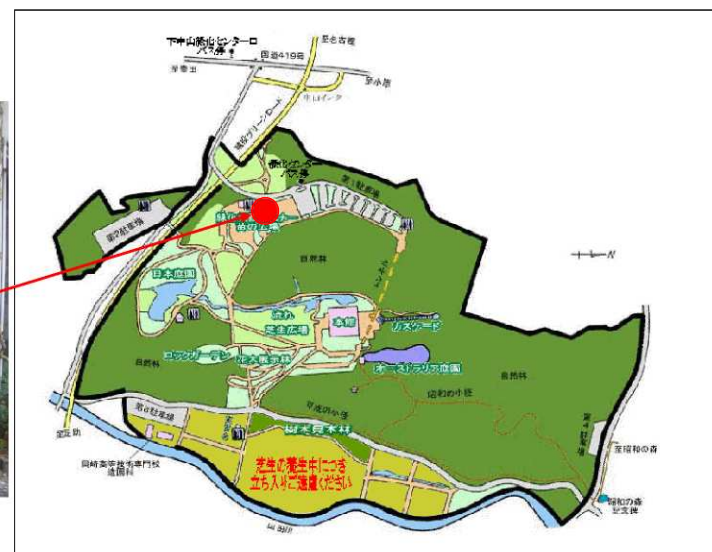
市役所藤岡支所、県緑化センターは知名度、集客施設としては地区内でもっともよく知られた施設である。

この両施設を、タウンセンターとして活用し、地域住民、地域消費者への情報提供に供するため、下記の事業を中心に行う。

- ① 地域全体の情報収集、提供
- ② イベント時の案内
- ③ イベント時のPRと出店
- ④ 地域特産品の展示と販売
- ⑤ その他



空店舗となった県緑化センター売店





### Ⅲ. 地域の安全性の確保と安心安全なまちづくり



#### 1. 楽しく安全なまちであるイメージの創造

##### (1) マイロードプロジェクト

豊田市観光交流基本計画「花回廊」との連動性

国道419号線をはじめ、県道、市道、農道、林道など危険なイメージのつきまとう道路に親しみやすい名前をつけ、安全で快適なイメージを創出する。

～すでに愛称が命名されている道路～

- ・「夢・こもれび街道」  
下川口町を中心に、ふじの回廊、下川口大沢池を周遊する県道・林道
- ・「木瀬・やすらぎ街道」  
御作町から木瀬町へ抜ける市道と大沢不動命王へいたる道路

1. 平成20年度命名予定  
藤岡飯野町から御作町御作小学校へいたる県道
  2. 平成21年度命名予定  
木瀬町から三箇を抜け石畳温泉、折平町、北一色町を抜け、藤岡飯野町までの一部国道、県道等
  3. 平成22年度命名予定  
国道419号線の西中山町から木瀬町まで
- ・命名方法  
一般公募とし、推進委員会等で審査し、採用作品等は表彰する。
  - ・命名イベント  
各年ロード名が決まった時点で、命名イベントを行い、広く内外に周知をはかる。

#### 2. 地域住民が安心して暮らせるまちづくり

##### (1) 既存街路灯の建て替え工事

商工会で建設した既存の街路灯215基の建て替え工事をおこなう。

建て替えにあたっては、ふじまたは当地区キャラクターマークのイメージのついた街路灯を設置する。

##### (2) 子どもやお年寄りが安心して歩けるまち

商業者が一丸となって、小学生等の登下校時に声かけ、通学の安心・安全を見守る。

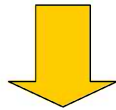


### Ⅲ. 平成20年度、21年度、22年度の事業計画

		平成20年度事業	平成21年度事業	平成22年度事業
<b>I. 藤岡商店街としての一体感の形成</b>				
1. 広範囲に点在する商業者を、地域全体を一つの商店街としてとらえるためのC. 1. の導入				
	(1) 藤岡地区全体が「ふじ」の町であるイメージの創造			
	①商店街の連続性を創る	①店舗入口ふじモニュメント設置事業	→	
	②ふじにちなんだ商品の開発促進 ふじにちなんだ弁当、五平もち など	ア.商品開発促進	→	→
	③ふじ（色）を基調とした具体的な商品展開 統一フラッグ、Tシャツ、コースター、包装紙、ショッピングバッグ エコバッグ（フーチャン入り）	①統一のぼりばた ②統一Tシャツ、エプロン	①Tシャツ、エプロン ②エコバッグ	
	④特産品認定事業	ア.認定基準等作成調査研究	ア.認定マーク、ロゴ、シール等作成 イ.広報	→
	(2) キャラクターグッズの製作と販売			
	①キャラクターグッズ製作販売事業 ピンバッジ、ぬいぐるみ、着ぐるみ	①ぬいぐるみ、②ピンバッジ、③着ぐるみ		
	②商標登録	①弁理士等委嘱		
<b>Ⅱ. 地域住民・消費者・地区外来者等とのコミュニケーション</b>				
1. 消費者がお買物することがまちづくりに参画することができるシステムづくり				
	(1) 現存のポイントカードシステムのリニューアル			
	①ポイントカードシステム機器購入事業		①機器購入、②説明会	①機器購入、②説明会
	②ポイントカードシステム構築事業	①ポイントカード意義・意識付け ア.研修会等開催費用、イ.その他研究		
	③ポイントカードシステム周知事業	①チラシ、ポスター等作成	→	→
	2. 地域内外の情報収集・提供			
	①空店舗対策事業 ②藤岡拠点整備事業	①空店舗対策事業 ア.改装費 1件 イ.家賃 1件 ②情報収集・発信機能	①空店舗対策事業 ア.改装費2件 イ.家賃2件	①空店舗対策事業 ア.改装費2件 イ.家賃2件
<b>Ⅲ. 地域の安全性の確保と安心安全なまちづくり</b>				
1. 楽しく安全なまちであるイメージの創造				
	(1) マイロードプロジェクト			
	周知、公募 審査、公表、イベント事業	ア.飯野～御作 イ.周知チラシ作成、折込 ウ.審査、公表、I.命名イベント	ア.木瀬～三箇～白川～北一色～飯野 イ.周知チラシ作成、折込 ウ.審査、公表、I.命名イベント	ア.国道419号線 イ.周知チラシ作成、折込 ウ.審査、公表、I.命名イベント
	2. 地域住民が安心して暮らせるまちづくり			
	(1) 街路灯既存分建て替え			
	①街路灯設置イベント ②街路灯設置イベント	①ふじのイメージの街路灯設置（215基） ②設置イベント機材等借用費 ③PRグッズ製作配布 ④チラシ、ポスター作成費、折込費		
<b>Ⅳ. 専門家委嘱、先進地視察研修</b>				
	(1) 専門家委嘱	①専門家委嘱	→	→
	(2) 先進地視察研修	①先進地視察研修	→	→

### 事業者の評価とその手法

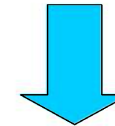
1. ポイントカード加盟店の増加  
現在の15店舗から3年間で30店舗を目標とする。
2. 売上高の増加  
53店舗（2ページ参照）ベースで年商7億500万円を、3年間で5%（3千5百万円）、5年間で10%（7千万円）アップを目標とする。
3. 本事業により改善された事項
4. 現状の問題点



藤岡商工会員への郵送、FAX等による  
直接アンケート（毎年度実施）

### 消費者の評価とその手法

1. まち全体のイメージの変化
2. 店舗のイメージの変化
3. 本事業により改善された事項
4. 現状の問題点



来店者への直接アンケートならびに  
一部女性会等へのアンケート調査

### V. 推進体制

平成19年度	
専門家	
商工会役員・商業者委員	11名

平成20年度・平成21年度・平成22年度	
専門家	商工会役員・商業者委員 15名
行政担当者	藤岡地域会議委員 1～2名

# 商店街活性化計画策定支援事業（がんばる商店街）事業報告

## 1. 推進委員名簿

	役職名	氏名	事業所名	業種	所在地
	専門家	古池嘉和	名古屋学院大学教授		
1	推進委員長	加藤勇夫	レストランいつき	飲食業	西中山
2	推進委員	加藤久和	藤岡石油(株)	ガソリンスタンド	〃
3	〃	永井光彦	東京自動車(株)	自動車修理販売業	飯野
4	〃	中村典弘	なかむら	衣料品販売業	〃
5	〃	山本鋭二	(有)加茂交通社	旅行業	〃
6	〃	加藤勇	理容カトウ	理容業	木瀬
7	〃	丹羽常雄	(有)フジオカ	不動産仲介業	西中山
8	〃	山内高広	(有)いわた	食料品・雑貨販売業	木瀬
9	〃	鈴木路行	(有)ヤマキ-ビス	ギフト商品販売業	深見
10	〃	奥平芳晴	(有)松華堂	菓子製造販売業	〃
11	〃	澤田恵雄	(株)イノベーション愛知	教育ソフト販売業	下川口



## 2. 推進委員会

(開催場所はすべて藤岡商工会)

	開催日	主な議題	出席者
1	4月19日(木)	①がんばる商店街概要について ②推進委員就任について	12
2	5月24日(木)	①藤岡地区商業の現状について ②計画づくりの方針について	11
3	6月14日(木)	①藤岡地区商業の将来について ②計画づくりの方針について	11
4	7月12日(木)	①藤岡地区商業の将来について ②計画づくりの方針について	11
5	8月23日(木)	①計画づくりの進捗状況について	13
6	9月14日(金)	①3カ年の計画づくりについて	7
7	9月27日(木)	①3カ年の計画づくりについて ②補助金の概算要望について	10
8	11月8日(木)	①提出計画書の概要について	8
9	12月7日(金)	①提出計画書の概要について	9
10	2月29日(金)	①提出計画の変更について	10

開催日	平成19年9月19日(水)
視察先	滋賀県彦根市 花しょうぶ通り商店街 夢・京橋キャスルロード商店街
参加者数	10名

花しょうぶ通り商店街



ひこね「道の駅」花しょうぶ通り  
〒520-0001 滋賀県彦根市花しょうぶ4  
TEL 0749-27-0110  
URL www.hikone-machiroad.com  
e-mail info@hikone-machiroad.com

花しょうぶ通り商店街振興会  
〒520-0001 滋賀県彦根市花しょうぶ3-10  
TEL 0749-22-0071 FAX 0749-22-0126  
URL www.pinkst.or.jp/homepage/012/ e-mail hikone-trad@pinkst.net

協賛人 彦根市観光ビューロー 彦根市観光協会 彦根市観光コンベンション協会  
〒520-0001 彦根市津島町東町1-1-1  
TEL 0749-27-1111 FAX 0749-27-1431  
URL www.kn.or.jp/hikone/ e-mail hikone@kn.or.jp

〒 彦根市

hikone machiroad | tsurukiyo chikago

提供サービス (平成18年11月現在)

1 現代版寺子屋事業

1000法人「彦根県民会議」  
15:30又は16:30~19:00 200円/1回(ドリンク代別)資料代  
体験、実践の講演や、みんなでわいわいワークショップ

彦根ボランティアガイド協会、ひこね自給自足生活活動の会  
平日 500円/1日(みかるとデジタルカメラポート、後援代込)  
イベント型又はワークショップが中心の企画で実施

彦根大 県立大 学生 総合グループ  
池18:00~21:00 500円/1講座  
では必ず予約から! 数料書のおさらい学習から始めます。

作業  
17:00~19:00~22:00 400円/1講座(材料費別途)  
作れます! 機械400年数に向けて、頑張りますよ!

NPO法人「読書機を育てる会」  
00~12:00 13:00~15:00 1,000円/1講座  
2回、読書代別途。 場所:彦根、彦根090-1144-2745

ひこね書信、情報交換(おけいけん)  
平日13:30~15:00(予定) 200円/1回(ドリンク代別)資料代  
て、話し合います!

花しょうぶ通り商店街  
平日(半席) 1,000円/1講座  
※大珍味を味わい、遊び、語り合う夜学

詳細  
第4金曜日10:00~12:00 600円/1講座(材料費別途)  
作りますよ!



夢・京橋キャスルロード



①キョウシャー 新装情報などで作品が映えます ②ボックス 自分の作品を展示・販売できます

3 サロン・交流事業

①甘味亭「たか空」  
営業のご案内◆営業時間 OPEN:11:30---CLOSE:4:30  
◆休業日 毎週月曜日 年休半日 ◆観覧人数 親子席:20席・席数:48席

②みかどブライヤード・ひこね  
このたびはひこね町の町屋型お土産 THE YEAR賞牌を制しました。賞牌の名産、特産品の異なる  
展開、発展、発展に寄与すべく、彦根のお土産にスポットを当てた、新たなインキュベーター事業です。春夏秋  
冬にシーズン大賞(次賞&ベストトリー賞)として、各一品認定されます。

③情報キヨスク  
画面にタッチすれば、彦根観光の役に立つ情報を見ることができます。